事例No.	1417
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	佐賀県武雄市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用 ・人材確保・育成

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

三者協定に基づいた森林整備の推進

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

佐賀県　武雄市（三者協定に基づいた森林整備の推進）

- 武雄市では、森林所有者の高齢化や経営意欲の減退等により手入れ不足の人工林が増加している。このため、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づいた取組を進めるとともに、早期に森林整備を行う必要がある山林については三者協定（市、森林所有者、事業体）を結び、間伐等の森林整備を推進する方針。
- 令和２年度は、以下の取組により、新たに約４.４haの間伐と1haの除伐が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。
  - 早期に森林整備を行う必要のある森林について、三者協定を結び約４.４haの間伐を実施した。
  - 市内の私有林人工林１９６haにおいて森林経営管理制度に基づく意向調査に取り組み、森林所有者の意向把握につながった。令和３年度は調査結果をもとに集積計画作成等を実施する予定。

□ 事業内容

1　三者協定に基づく森林整備

（森林経営管理情報取得・荒廃森林間伐業務）

- 近年、森林整備がなされていない荒廃森林又はその恐れのある森林について、三者協定を結び間伐を実施した。

【事　業　費】4,290千円（全額譲与税）

【実　　績】協定書取得 13件、間伐4.42ha、除伐1ha

2　森林所有者への意向調査の実施

- 市内の私有林のうち約196ha（499筆、222名）の森林所有者に対して、今後の森林経営管理の意向調査を実施した。

【事業費】5,282千円（全額譲与税）

【実　　績】回答 130名（市へ経営管理委託を希望：約98ha）



（事業１：間伐前の状況）



（事業１：間伐後の状況）

□ 事業スキーム

1　三者協定に基づく森林整備

市 → 委託 → 森林組合 → 間伐 → 所有者

2　森林所有者への意向調査の実施

市 → 調査 → 所有者

□ 工夫・留意した点

- 意向調査では固定資産課税情報を活用することで、所有者把握に努めた。
- 森林経営管理制度に基づく意向調査も地区毎に分けて行い、所有者の把握や意向を確認し集積計画を立てていく予定。
- 緊急性が高いと思われる箇所については、引き続き三者協定を結び森林整備を進めていく。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	22,026千円
②私有林人工林面積（※１）	5,568ha
③林野率（※２）	54%
④人口（※３）	49,062人
⑤林業就業者数（※３）	44人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より